

知の拠点としての新図書館サービス検討委員会 「図書館サービス分科会」まとめ

1 開催の目的

- (1) 図書館・連携先双方にとってメリットや効果のあるサービス・取組等を具体的に検討し、その検討結果を図書館サービス計画等に反映する。
- (2) 基本計画策定後における社会情勢の変化や、他の図書館での取組なども踏まえながら、新図書館で行うサービス・取組等をブラッシュアップする。
- (3) 総括的な立場からの各分科会における検討内容の確認等を行う。

2 開催日時及び検討内容

開催日時	検討内容
○第1回 平成28年7月11日	・事務局説明（目的・スケジュール等） ・各分科会での意見等を踏まえたサービス・取組の検討内容に関する意見・助言等 ・新図書館サービス計画に関する意見・助言等
○第2回 平成28年8月30日	・各分科会のまとめ及び意見等を踏まえたサービス・取組の検討結果に関する意見・助言等 ・新図書館サービス計画に関する意見・助言等

3 分科会での主な意見等

(1) 各分科会での意見等を踏まえたサービス・取組の方向性に関すること

- 図書館資料・情報の利活用と整備・充実について
 - ・貴重な資料の受け入れ方についてのルールづくり
 - ・書店や出版社等との連携・協力
- 連携・協力してできることについて
 - ・図書館と関係機関双方にメリットがあることを認識したうえでの役割分担の整理
 - ・図書館と関係機関の担当者同士が日常的なやり取りが継続してできる関係の構築
 - ・連携・協力を継続するには、お互いにとって負担が少ないやり方と工夫が必要
 - ・関係機関との連携にあたっては、市町村立図書館等を巻き込む視点が必要
- 新図書館スペース・設備等の活用、新図書館を活用したPR
 - ・図書館の集客力そのものが中心市街地の活性化のポイント
- 図書館サービスのPR・周知
 - ・図書館で行うサービスと専門機関での支援内容をパッケージにした効果的なPR
 - ・医療機関の図書室や大学図書館等を通した図書館サービスの周知の重要性
- その他
 - ・司書の担当分野の専門性のあり方（分担・到達水準）の明確化

(2) 新図書館サービス計画に関すること

- 高知県関係資料の収集・保存・提供サービス
 - ・高知県にとって必要な資料の散逸を防ぐための市町村立図書館等と連携した資料収集の仕組みづくり

- レファレンス・サービス
 - ・レファレンス・ツールとデータベースの記載が必要

- ビジネス・農業・産業支援サービス
 - ・新図書館で展開した企画展示等をパッケージにして、市町村立図書館等を巡回させる視点が必要

- 情報リテラシー向上支援サービス
 - ・情報リテラシー向上のための対象者にあわせた講座の実施及び内容の充実
 - ・他団体との共同開催による業界に必要なリテラシーに特化した図書館活用講座の実施

- 行政支援サービス
 - ・ブックリストの作成やテーマ展示等、行政に対する情報面での支援の必要性
 - ・行政職員研修での図書館を利用した情報収集の有用性の積極的なPR

- 児童サービス
 - ・「お話し会」「ストーリーテリング」等、館内で定期的を実施するイベントの記載が必要
 - ・全点購入する児童書の市町村立図書館等への巡回

- ティーンズサービス
 - ・図書館がティーンズの居場所になりうることの記載
 - ・PR誌の編集や企画展示、スペースづくりへの10代の若者の参画
 - ・資格取得や就労支援等を目的としたハローワーク、大学、専門学校等との連携の検討

- 多文化サービス
 - ・語学ができるボランティアとの連携によるサービスの提供
 - ・地域の生活情報をはじめ、日本で暮らすために必要な情報を入手できるサービスの充実

- 市町村立図書館等への支援
 - ・新図書館での市町村立図書館職員の長期研修の実施
 - ・新図書館のサービスを県内全域に届けるための支援の充実
 - ・市町村立図書館等で解決困難なレファレンスへの支援
 - ・市町村立図書館等を巻き込んだ図書館サービスの提供及び情報発信

- 学校図書館との連携・協力
 - ・学校図書館職員への研修の実施

- 中心市街地活性化への寄与
 - ・観光客に図書館を利用してもらうための情報提供の仕組み検討